

問1	自然界において「分解者」として重要な役割を果たす菌類と細菌類について、その増え方の特徴として正しいものはどれですか。 （2024年 高知県公立入試 類似）			
	1. カビやキノコなどの菌類は主に分裂でふえ、乳酸菌などの細菌類は主に胞子によってふえる。	2. カビやキノコなどの菌類は主に胞子でふえ、乳酸菌などの細菌類は主に分裂によってふえる。	3. 菌類も細菌類も、ともに植物と同じように種子をつくってふえる。	4. 菌類も細菌類も、体の一部がくびれて分かれる分裂のみによってふえる。
問2	ある植物の並葉の株Zを自家受粉させて種子をつくり、その種子をすべて育てたところ、子の代では並葉の個体と丸葉の個体が3：1の比率で現れました。この結果から判断できる、並葉と丸葉の形質の関係について正しい説明を選びなさい。 （2021年 神奈川県公立入試 類似）			
	1. 並葉と丸葉の中間の形質が優性形質である。	2. どちらが優性形質かはこの結果だけでは判断できない。	3. 並葉が優性形質であり、丸葉が劣性形質である。	4. 丸葉が優性形質であり、並葉が劣性形質である。
問3	根の先端付近にある成長点から離れ、根の基部に近い場所を観察すると、一定の範囲に含まれる細胞の数は成長点付近に比べて少なくなります。これは、成長点で作られた細胞にどのような変化が起きるためですか。 （2024年 愛知県公立入試 類似）			
	1. 細胞分裂の回数がさらに増え、個々の細胞が互いに重なり合って見えなくなるため。	2. 細胞の密度を一定に保つために、古い細胞が根の表面から剥がれ落ちていくため。	3. 細胞が周囲の水分を吸収し、主に縦方向へと大きく伸長して成長するため。	4. 細胞が道管や篩管へと変化する過程で、多くの細胞が消失してしまうため。
問4	生物が成長する際、1つの細胞が分かれて、もとの細胞と同じ数・種類の染色体をもつ2つの新しい細胞ができる過程を何といいますか。 （2025年 和歌山県公立入試 類似）			
	1. 減数分裂	2. 無糸分裂	3. 受精	4. 体細胞分裂
問5	自然界における炭素の循環において、微生物（分解者）が果たす役割と二酸化炭素の流れについて述べたものとして、最も適切なものはどれか。 （2021年 大分県公立入試 類似）			
	1. 微生物は植物から放出された酸素を直接二酸化炭素に変えることで、大気組成を維持する。	2. 微生物は光合成を行うことで、大気中の二酸化炭素を有機物に変えて蓄える。	3. 微生物は死骸や排出物に含まれる有機物を分解し、呼吸によって二酸化炭素を放出する。	4. 微生物は呼吸を行わないため、炭素の循環には関与しない。
問6	植物が受粉した後の変化において、めしべの根元にある「子房」と、その内部にある「胚珠」はそれぞれ別の組織へと成長します。胚珠が変化してできるものの名称として適切なものはどれですか。 （2014年 愛媛県公立入試 類似）			
	1. 種子	2. 果実	3. 胚乳	4. 花粉管
問7	遺伝子の組み合わせが「Aa」である植物の個体が、減数分裂を行って生殖細胞をつくるとします。分離の法則に従った場合、この個体からつくられる「遺伝子Aを持つ生殖細胞」と「遺伝子aを持つ生殖細胞」の数の比は、理論上どのようになりますか。 （2014年 佐賀県公立入試 類似）			
	1. 2：1	2. 1：0（すべてAになる）	3. 1：1	4. 3：1
問8	双眼実体顕微鏡の左側の接眼レンズには「視度調節リング」が備わっています。この装置が備わっている理由として、最も適切な原理的な説明はどれですか。 （2019年 愛媛県公立入試 類似）			
	1. 観察者の右目と左目の視力には差があることが多いため、それぞれの目に独立してピントを合わせられるようにするため。	2. 顕微鏡を複数人で交代して使用する際に、鏡筒の間隔を素早く調整するため。	3. 倍率を途中で変更した際に、レンズの焦点距離が変化するのを自動的に補正するため。	4. 対物レンズと観察物の距離を大きく変えることなく、視野の明るさだけを調整するため。
問9	生態系において、炭素は大気と生物の間を循環しています。生産者が光合成によって大気中の二酸化炭素を吸収する一方で、生産者、消費者、分解者のすべての生物に共通して見られ、有機物に含まれる炭素を二酸化炭素として大気中に放出するはたらきはどれですか。 （2024年 長崎県公立入試 類似）			
	1. 窒素固定	2. 呼吸	3. 蒸散	4. 光合成
問10	生物の細胞において、核の中に含まれ、遺伝情報の本体であるDNA（デオキシリボ核酸）を保持している構造体の名称を答えなさい。 （2017年 茨城県公立入試 類似）			
	1. 細胞膜	2. 液胞	3. 細胞質	4. 染色体
問11	指標生物を用いた水質判定を行う際、より正確に環境を評価するための考え方として、最も適切なものはどれですか。 （2020年 東京都公立入試 類似）			
	1. 見つけた生物のうち、最もサイズが大きい個体1匹の種類だけで判定する	2. アメリカザリガニが1匹でも見つければ、他の生物の有無に関わらず水質階級一とする	3. 水の透明度のみで判定を行い、生物の生息状況は考慮に入れない	4. 見つかったすべての生物の種類とそれぞれの個体数を確認し、総合的に判定する
問12	生物の生殖において、減数分裂が行われる際に、対になっている遺伝子が互いに分かれて別々の生殖細胞に入るという決まりを何というか、その名称を答えなさい。 （2016年 茨城県公立入試 類似）			
	1. 連鎖の法則	2. 分離の法則	3. 独立の法則	4. 優性の法則
問13	植物の根が成長する仕組みについて、細胞の変化と成長する部位に関する説明として最も適切なものはどれですか。 （2019年 北海道公立入試 類似）			
	1. 根のすべての部分で細胞分裂が一齐に行われ、すべての細胞が同時に少しずつ大きくなることで根全体が太く長く成長する。	2. 根の先端そのものの細胞が土との摩擦によって引き伸ばされることで、根全体が先端から順に均等に伸びていく。	3. 根の基部にある細胞が水分を吸収して膨らみ、古い細胞を先端側へと押し出すことによって根の長さが更新される。	4. 根の先端付近にある成長点で細胞分裂が盛んに行われ、そこで新しくできた細胞がさらに上部で縦方向に大きく伸長することで根が伸びる。
問14	遺伝子と生物の進化、および形質の関係について述べた説明として、最も適切なものはどれですか。 （2024年 群馬県公立入試 類似）			
	1. 遺伝子は特定のタンパク質そのものの名称であり、環境によってその種類が変化することはない。	2. 遺伝子は形質とは無関係な情報であり、細胞分裂の際に染色体を保護するためだけに存在する。	3. 遺伝子は染色体に存在し、その情報が変化することは、長い年月を経て生物が進化する要因の一つとなる。	4. 遺伝子は細胞質に存在し、個体が一生の間に獲得した能力をすべて子に伝える役割を持つ。